

2017年度
事業計画書

自 2017年4月1日
至 2018年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

(公財)北九州国際交流協会 2017 年度事業計画書

本協会は、「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」という長期ビジョンの下、「1 外国人市民の支援」、「2 行政・民間団体連携」、「3 グローバル人材育成」の3つの分野における事業を実施する。

1 外国人市民支援事業 (25,122 千円) [2016 年度 26,136 千円]

(1) 多言語による生活情報の提供 (1,095 千円) [2016 年度 1,104 千円]

日本語を十分に理解できない外国人市民に対して、地域生活において必要となる情報を多言語で様々な媒体により提供する。

① 外国人市民への情報提供

外国人市民向けに毎月、英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごでメールによる情報提供を行う。また、あわせて印刷版もスペース等で配布する。

② ホームページによる広報

日本語・英語・中国語・韓国語・やさしいにほんごによる多言語ホームページによるリアルタイムな情報提供を行う。

(2) コミュニケーション支援事業 (24,027 千円) [2016 年度 25,032 千円]

コミュニケーションに困難を感じている外国人市民に対して、地域社会で孤立することなく日本人と共生できるように支援を行う。

① 外国人相談

日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語による外国人相談及び情報提供を八幡西区コムシティ及び小倉北区役所において行うとともに、専門家による法律、ビザ・入管関係、日常生活での悩みごとの無料専門相談会を毎月1回実施する。

② 市窓口等における電話通訳

区役所や市立小・中学校等北九州市の関係機関と日本語でのコミュニケーションが難しい外国人市民とのコミュニケーションを円滑に行うため、トリオフオン等を活用した電話通訳サービスを実施する。

③ 行政通訳派遣

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校、子育て支援機関等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

④ 医療通訳派遣

外国人市民が安心して医療を受けられるように、病院からの依頼があった際に医療通訳者を病院に派遣する。また、利用の促進に向けた啓発・PR活動を強化し、登録病院の拡充に努める。

⑤ 外国人市民への防災支援

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

⑥ 外国人子ども支援

多文化の子どもたちの日本語能力の向上と学習支援事業を実施するとともに、小・中学校との協力体制の構築に向け協議を行う。また、公立学校の支援を受けることが困難な、中学卒学齢を超えた青少年の日本語学習支援をあわせて行う。

⑦ 外国人生活者支援

地域で暮らす外国人を対象に、日本語の習得と生活情報の提供を目的とした日本語教室を実施する。あわせて、就労や社会参画を目的として、より学習者のニーズやレベルに合った教室も実施する。

⑧ 地域日本語教室との連携

市内の地域日本語教室との連携を密にして必要な支援を提供する。

2 行政・民間団体連携事業 (2,301 千円) [2016年度 2,314 千円]

***再掲事業の予算額は除く**

(1) 民間団体の支援・連携推進事業 (2,301 千円) [2016年度 2,314 千円]

北九州地域の国際化及び多文化共生を推進するため、市民団体の活動支援や連携を図る。

① 北九州国際交流団体ネットワーク（キーネット）支援

キーネットの目的を達成するための活動を支援するため事務局として活動する。

② 民間団体の活動支援

本市の国際化及び多文化共生に貢献している民間団体の活動が、広く世間に評価されるように表彰事業に民間団体を推薦する。また、民間団体と連携・協働するとともに、民間団体が開催する事業の共催や後援、広報支援等を行う。

(2) 行政との連携推進事業

① 行政通訳派遣 (再掲)

外国人市民への行政サービスの手助けとして、区役所や学校、子育て支援機関等から要請があった場合、行政通訳者を派遣する。通訳者の登録については、より多言語の人材確保を図る。

② 外国人市民への防災支援 (再掲)

災害時に弱者となりやすい外国人支援のため、防災啓発や災害時通訳サポーターの拡充とフォローアップ研修を実施する。

③ 多文化共生の人材づくり (再掲)

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

3 グローバル人材育成事業 (13,483 千円) [2016 年度 14,274 千円]

(1) 国際理解教育の推進事業 (1,034 千円) [2016 年度 716 千円]

異なるものを理解・尊重する社会的な土壌をつくるために、市民を対象にした国際理解教育を推進する。

① 国際理解教育講師の派遣・紹介

小・中学生や異文化について興味のある市民を対象に、世界の文化や習慣を体験的に学習してもらうため、外国人市民等を国際理解教育の講師として小・中学校、市民センター等に派遣する事業を福岡県国際交流センター・福岡よかトピア国際財団・北九州国際交流協会の協働事業として実施する。

② 国際交流員派遣

国際交流員を小学校や市民センター等に講師として派遣し、自国の文化等を紹介することにより市民の異文化理解を促進する。

③ 国際理解教育の推進

異文化理解を推進し多文化共生社会を推進するための事業の実施もしくは協力を行う。

(2) ホストファミリーの支援事業 (2,070 千円) [2016 年度 1,925 千円]

国際交流や異文化を体験を希望する家族をホストファミリーとして登録し、留学生等との交流の機会の提供や交流事業を実施する等、ホストファミリーの支援を行う。

① 留学生にここご家族・ホームビジット

大学等に通う留学生とホストファミリーとの長期交流を支援する「留学生にここご家族」を実施する。また、研修員や留学生等を家庭に招き、お互いの交流を通じて、相互理解と親睦を深めるホームビジットを実施する。

(3) 留学生等の支援事業 (2,956 千円) [2016年度 3,260 千円]

市内の大学等に通う留学生に対して生活支援を行うとともに、留学生が日頃の考えを発表する機会を提供する。また、大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者に奨学金を支給する。

① 留学生への情報提供

新しく北九州に転入してきた留学生に対して、生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供する。また、留学生の日本での就職に向けた情報提供を行う。

② 留学生支援

市内の留学生等を対象にした中古自転車のあっせん事業を実施する。また、各大学の留学生担当者による意見交換のため、留学生関係機関連絡会議を実施する。

③ 関原北九州大連友好基金

大連市出身又は大連市内の大学又は専門学校を卒業し、北九州市内の大学、短期大学等に留学している者3名程度に奨学金(月額2万円)を支給する。また、大連市内の大学に在学中の中国人学生で日本語を学び、かつ、優秀な学力を有する者3名程度に、奨学金(月額500円)を支給する。

④ 留学生弁論大会

北九州市内在住などの留学生が感じたことを発表してもらい、留学生の日本語学習の意欲増進と、日本人が留学生を理解する一助とするため弁論大会を開催する。

(4) 青少年交流の促進事業 (1,744 千円) [2016年度 1,184 千円]

市内の青少年が、将来グローバルに活躍できる人材となれるように、海外の青少年との相互交流を促進する。

① 仁川市との青少年相互派遣

青少年の育成のみならず、姉妹都市である仁川市との交流をより一層深めることを目的に、青少年を相互に派遣する事業を北九州市及び仁川観光公社と協働で行う。

(5) 多文化共生啓発事業 (1,834 千円) [2016 年度 1,479 千円]

地域における多文化共生の推進のために、市民に対して多文化共生の地域づくりについて啓発を行い、多文化共生について考える機会を提供する。

① 多文化共生啓発

多文化共生についてより深く理解し身近に感じてもらうため、市民や市民団体等に対し学習会や講座、イベントなどを通して、多文化共生の啓発を行う。

③ 多文化共生の人材づくり

多文化共生を担う人材の育成を行う事業を「北九州ひとみらいプレイス」において実施する。

(6) 市民ボランティアの育成事業 (25 千円) [2016 年度 25 千円]

北九州地域の国際交流や多文化共生を進めるための協力者として、その能力を十分発揮できるよう、市民ボランティアの育成を図る。

① ボランティア育成講座の実施

協会事業をサポートするボランティアや、国際交流や多文化共生事業に関係する市民ボランティアの能力を向上させるため、講習会等を実施し、活動のための支援を行う。

(7) 外国人による地域づくり担い手育成事業 (3,820 千円) [2016 年度 5,685 千円]

地域連携コーディネーターを置き、外国人市民の中から多文化共生の担い手となる人材を発掘、育成する事業を実施する。実施に当たっては、日本語教育担当コーディネーター、留学生支援担当者、コミュニティ通訳派遣コーディネーター、地域日本語教室との連携を図る。

また、多文化共生理解促進を図るため、地域の市民センター等への外国人人材の派遣を実施する。

① 多文化共生の担い手のための研修会

外国人市民へのヒアリング等から人選した、多文化共生キーパーソン外国人市民人材に対し、それぞれの個性を活かして社会参画するための研修会を実施する。また、在住外国人同士の交流や、子育て中の日本人と外国人の交流を促進する。

② 多文化共生学習への在住外国人派遣

コミュニケーション能力や個人の持つスキルが、日本人市民に対する多文化共生啓発に十分生かせると思われる外国人人材をリスト化して登録し、地域の市民センターや学校等に派遣する事業を実施する。あわせて、市民センターや学校等への多文化共生理解講座やイベントの実施に向けたレクチャーを行い、多文化共生の担い手としての外国人市民活躍の機会を創出する。

2017年度
収 支 予 算 書

自 2017年4月1日

至 2018年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

公益財団法人北九州国際交流協会 2017年度収支予算書

(正味財産増減計算書ベース)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,331]	[4,091]	[△ 1,760]
基本財産受取利息	2,331	4,091	△ 1,760
特定資産運用益	[18]	[900]	[△ 882]
特定資産受取利息	18	900	△ 882
受取会費	[700]	[700]	[0]
賛助会員受取会費	700	700	0
事業収益	[1,576]	[2,913]	[△ 1,337]
外国人市民への防災支援受託事業収益	347	404	△ 57
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	819	999	△ 180
人材育成受託事業収益	410	400	10
中国帰国者支援受託事業収益	0	1,110	△ 1,110
受取補助金等	[56,489]	[66,450]	[△ 9,961]
受取北九州市補助金	56,489	64,450	△ 7,961
受取自治体国際化協会助成金	0	2,000	△ 2,000
受取寄附金	[400]	[400]	[0]
受取寄附金	400	400	0
雑収益	[991]	[694]	[△ 297]
受取利息	1	4	△ 3
その他雑収益	990	690	300
経常収益計	62,505	76,148	△ 13,643
(2) 経常費用			
事業費	[72,170]	[77,010]	[△ 4,840]
役員報酬	5,917	5,882	35
給料手当	34,784	36,481	△ 1,697
臨時雇賃金	8,326	8,089	237
福利厚生費	8,556	8,469	87
旅費交通費	1,667	2,914	△ 1,247
通信運搬費	752	688	64
減価償却費	199	281	△ 82
消耗什器備品費	180	210	△ 30
消耗品費	475	936	△ 461
材料費	90	145	△ 55
修繕費	50	50	0
車両費	234	259	△ 25
印刷製本費	475	931	△ 456
光熱水料費	1,890	1,959	△ 69
リース料	143	143	0
使用料賃借料	3,989	3,693	296
災害保険料	128	118	10
報償費	1,451	2,900	△ 1,449
租税公課	15	18	△ 3
奨学金	877	1,100	△ 223
食糧費	452	140	312
支払負担金	250	250	0
図書費	60	50	10
委託費	975	862	113
雑費	235	442	△ 207
管理費	[2,334]	[2,906]	[△ 572]
役員報酬	436	435	1
給与手当	397	393	4
福利厚生費	113	111	2
会議費	40	50	△ 10
旅費交通費	8	10	△ 2
通信運搬費	15	15	0
減価償却費	0	318	△ 318
消耗品費	5	6	△ 1
印刷製本費	3	3	0
光熱水料費	97	99	△ 2
リース料	16	16	0
使用料賃借料	459	163	296
交際費	70	75	△ 5
支払負担金	100	100	0
委託費	454	977	△ 523
雑費	121	135	△ 14
経常費用計	74,504	79,916	△ 5,412
当期経常増減額	△ 11,999	△ 3,768	△ 8,231

科 目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄附金等振替額	11,800	2,126	9,674
経常外収益計	11,800	2,126	9,674
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	11,800	2,126	9,674
当期一般正味財産増減額	△ 199	△ 1,642	1,443
一般正味財産期首残高	217,190	218,832	△ 1,642
一般正味財産期末残高	216,991	217,190	△ 199
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	△ 11,800	△ 2,126	△ 9,674
指定正味財産期首残高	150,071	152,196	△ 2,125
指定正味財産期末残高	138,271	150,070	△ 11,799
III 正味財産期末残高	355,262	367,260	△ 11,998

※前年度の一般正味財産期首残高は、前々年度の決算額で調整した金額である。

公益財団法人北九州国際交流協会 2017年度収支予算書内訳表

(正味財産増減計算書ベース)

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(単位：千円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	多文化共生 推進事業	関原基金 奨学金事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	900	763	1,663	668		2,331
基本財産受取利息	0	900	763	1,663	668		2,331
特定資産運用益	18	0	0	18	0		18
特定資産受取利息	18	0	0	18	0		18
受取会費	0	0	350	350	350		700
賛助会員受取会費	0	0	350	350	350		700
事業収益	1,576	0	0	1,576	0		1,576
外国人市民への防災支援受託事業収益	347	0	0	347	0		347
コミュニティ通訳等派遣受託事業収益	819	0	0	819	0		819
人材育成受託事業収益	410	0	0	410	0		410
受取補助金等	55,034	0	0	55,034	1,455		56,489
受取北九州市補助金	55,034	0	0	55,034	1,455		56,489
受取寄附金	0	0	400	400	0		400
受取寄附金	0	0	400	400	0		400
雑収益	991	0	0	991	0		991
受取利息	1	0	0	1	0		1
その他雑収益	990	0	0	990	0		990
経常収益計	57,619	900	1,513	60,032	2,473	0	62,505
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	5,917	0	0	5,917	0		5,917
給料手当	34,694	90	0	34,784	0		34,784
臨時雇賃金	8,326	0	0	8,326	0		8,326
福利厚生費	8,543	13	0	8,556	0		8,556
旅費交通費	1,667	0	0	1,667	0		1,667
通信運搬費	745	7	0	752	0		752
減価償却費	199	0	0	199	0		199
消耗什器備品費	180	0	0	180	0		180
消耗品費	475	0	0	475	0		475
材料費	90	0	0	90	0		90
修繕費	50	0	0	50	0		50
車両費	234	0	0	234	0		234
印刷製本費	475	0	0	475	0		475
光熱水料費	1,890	0	0	1,890	0		1,890
リース料	143	0	0	143	0		143
使用料賃借料	3,989	0	0	3,989	0		3,989
災害保険料	128	0	0	128	0		128
報償費	1,446	5	0	1,451	0		1,451
租税公課	15	0	0	15	0		15
奨学金	0	877	0	877	0		877
食糧費	442	10	0	452	0		452
交際費	0	0	0	0	0		0
支払負担金	250	0	0	250	0		250
図書費	60	0	0	60	0		60
委託費	975	0	0	975	0		975
雑費	234	1	0	235	0		235
管理費							
役員報酬	0	0	0	0	436		436
給与手当	0	0	0	0	397		397
福利厚生費	0	0	0	0	113		113
会議費	0	0	0	0	40		40
旅費交通費	0	0	0	0	8		8
通信運搬費	0	0	0	0	15		15
消耗品費	0	0	0	0	5		5
印刷製本費	0	0	0	0	3		3
光熱水料費	0	0	0	0	97		97
リース料	0	0	0	0	16		16
使用料賃借料	0	0	0	0	459		459
交際費	0	0	0	0	70		70
支払負担金	0	0	0	0	100		100
委託費	0	0	0	0	454		454
雑費	0	0	0	0	121		121
経常費用計	71,167	1,003	0	72,170	2,334	0	74,504
当期経常増減額	△ 13,548	△ 103	1,513	△ 12,138	139	0	△ 11,999

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引 消去	合計
	多文化共生 推進事業	関原基金 奨学金事業	共通	小計			
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄附金等振替額	11,800	0	0	11,800	0	0	11,800
経常外収益計	11,800	0	0	11,800	0	0	11,800
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	11,800	0	0	11,800	0	0	11,800
当期一般正味財産増減額	△ 1,748	△ 103	1,513	△ 338	139	0	△ 199
一般正味財産期首残高	207,734	1,193	11,730	220,657	△ 3,466	0	217,190
一般正味財産期末残高	205,986	1,090	13,243	220,319	△ 3,327	0	216,991
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	△ 11,800	0	0	△ 11,800	0	0	△ 11,800
指定正味財産期首残高	50,071	100,000	0	150,071	0	0	150,071
指定正味財産期末残高	38,271	100,000	0	138,271	0	0	138,271
III 正味財産期末残高	244,257	101,090	13,243	358,589	△ 3,327	0	355,262

資金調達及び設備投資の見込みについて

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定の有無：なし

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む）の有無：なし